

杉原千畝

すぎはら ちうね

人道の道 スタンプラリー

杉原千畝の功績や

名古屋とのゆかりを巡ってみよう！

人道の道関連スポット11箇所を巡り賞品をゲット！

応募チャンスは2回！



©NPO 杉原千畝命のビザ

「命のビザ」で知られる杉原千畝は日本の外交官です。第二次世界大戦中に千畝は迫害から逃れようとするユダヤ系避難民に2,000通を超えるビザを発給し、多くのユダヤ人を救いました。千畝は少年期の約10年間を名古屋で過ごしました。千畝の功績を讃えて、当時の居住地付近から出身校である愛知県立第五中学校（現在の愛知県立瑞陵高等学校）を結び、「杉原千畝 人道の道」と名付けました。

参加方法



二次元コードを読み込んで参加！

杉原千畝スタンプラリー

検索

2026

8/

1

土

11/

30

月

参加方法

1

二次元コードを読み込み
参加登録して
準備完了！

2

人道の道
関連スポットで
スマートフォンから
スタンプをGET！

3

スタンプ6個を
集めたら
応募フォームに
必要事項を入力し
応募完了！

4

スタンプ11個を
集めてコンプリート！
応募フォームに
必要事項を入力し
応募完了！

賞品

スタンプ
6個で応募！

抽選で賞品を
プレゼント！

- トヨタヴェルブリッツ選手サイン色紙…5名
- 名古屋グランパス選手サイン色紙 ……5名
- 人道の港 敦賀ムゼウムグッズ ……5名
- 杉原千畝記念館グッズ ……5名
- 杉原千畝オリジナルコットンバッグ …20名

スタンプ
11個で応募！

抽選で賞品を
プレゼント！

2026-27シーズンデザイン

- トヨタヴェルブリッツ選手
サイン入りレプリカジャージ…1名
- 名古屋グランパス選手
サイン入りユニフォーム…1名



すぎはら ちうね じんどう みち 杉原千畝 人道の道 スタンプラリーマップ



杉原千畝は少年期の約10年間を名古屋で過ごしました。当時の居住地付近から出身校である愛知県立第五中学校（現在の愛知県立瑞陵高等学校）を結び、「杉原千畝 人道の道」と名付けました。

..... 人道の道ルート
★ スポット (11箇所)

500m

杉原千畝について

外交官になるまで [1900年～1923年]

1900年、岐阜県で生まれた千畝は、父・好水の仕事の都合で、小学校低学年のときに名古屋市古渡尋常小学校（現・名古屋市立平和小学校）に転入しました。

1912年、尋常小学校を卒業した千畝は、愛知県立第五中学校（現・愛知県立瑞陵高等学校）に進学し、1917年に卒業しました。

その後、早稲田大学に入学しましたが、1919年に外務省留学試験に合格し、ロシア語を学ぶ留学生として、ロシア人が多く暮らす中国東北部のハルビンに向かいました。



中学校時代の千畝
(卒業アルバムより)

©NPO 杉原千畝命のビザ

杉原千畝について

外交官時代①～ビザ発給まで～ [1924年～1939年]

1924年、千畝は外務書記生に任命され、1925年からハルビンの日本総領事館で働き始めました。満州国外交部へ移籍したのち、日本外務省に復帰し、1937年に在ヘルシンキ日本公使館に赴任し、1939年にリトアニアの在カウナス日本領事館の領事代理となりました。

そのころ、ヨーロッパではナチスが勢力を広げ、ユダヤ人への迫害が増大していました。国外脱出を図るユダヤ系避難民は、一時避難をしていたリトアニアから、ナチスの脅威が及ばない安全な地域への逃亡を目指していました。

外交官時代②～ビザ発給～ [1940年]

1940年7月18日の早朝、ポーランドからリトアニアに逃亡してきたユダヤ系避難民が、ソ連によるリトアニア併合の動きから早急に国外への脱出の必要を感じ、日本領事館に通過ビザを求めて大勢殺到しました。緊迫した中、千畝は外務省と連絡をとりましたが、外務省からの命令は「発給要件を満たさぬ者へのビザの発給はならぬ」というものでした。しかし千畝はユダヤ系避難民に対し、ビザ発給を行いました。

晩年、千畝はこう述べています。「苦慮、煩悶の擲句、私はついに、人道、博愛精神第一という結論を得た。そして私は、何も恐ることなく、職を賭して忠実にこれを実行し了えたと、今も確信している。」



パロマ瑞穂スタジアム
(可和名橋)